

2012年9月25日
『COMMUNITY TRAVEL GUIDE 福井人』制作委員会
(ウララコミュニケーションズ、まちづくり福井、英治出版、博報堂)

福井の人々との出会いを楽しむ観光ガイドブック 「COMMUNITY TRAVEL GUIDE 『福井人』」制作開始！

福井人が、自分たちの力で、自分たちの魅力をPR ～クラウドファンディングも活用

10月7日、キックオフワークショップを福井にて開催

ウララコミュニケーションズ、まちづくり福井、英治出版、博報堂などで構成する『COMMUNITY TRAVEL GUIDE 福井人』制作委員会は、福井人が作る、福井人との出会いを楽しむ観光ガイドブック『COMMUNITY TRAVEL GUIDE 福井人』の制作を開始いたします。10月より制作を開始し、2013年4月の刊行を目指します。

『COMMUNITY TRAVEL GUIDE』とは、地域に暮らす魅力的な人々を紹介し、その人たちに会いに行く旅を提案する国内旅行ガイドブックシリーズです。このたび制作する『福井人』は、島根県隠岐島海士町の住民を紹介した第1弾『海士人』に続く第2弾として、全国発売される予定です。

●「福井の“人”に会いに来て！」～人との出会いを楽しむ、新しい観光ガイドブック

近年、国内観光のスタイルに変化がみられます。名所巡りや名物グルメを堪能する旧来の「ハード消費型」の観光から、旅先で体験したり学んだり、隠れた魅力に触れて楽しむ「ソフト体験型」の観光に関心が集まりつつあります。これからの「ソフト体験型」の地域観光を支えていく最大の原動力、それは、地域に暮らす「人」そのものなのではないでしょうか。今回制作するガイドブック『福井人』では、福井の観光の主役を、福井に住む「人」と捉え、“福井人との出会いを楽しむ旅”を提案します。

●「福井人が、自分たちの力で、福井人をPRする」新しい仕組み

ガイドブック『福井人』の制作にあたっては、福井の住民みずからが3つの役割を担います。住民は『福井人』のコンテンツとなり、レポーターとなり、スポンサーとなります。

なかでも、クラウドファンディング^{※1}を活用したスポンサー制度は今回の特徴です。

(1)住民＝コンテンツ

魅力的な生活を送る福井人たちがガイドブックの主役。100人以上の実在の福井人を掲載します。

(2)住民＝レポーター

地域振興に積極的な福井人たちが、周囲の魅力的な福井人を自ら発掘し、取材し、紹介します。

(3)住民＝スポンサー

福井を思う居住者と福井出身者による出資を募り、その資金でガイドブックを制作します。

いわば、新しい「ふるさと納税」のかたちです。

『COMMUNITY TRAVEL GUIDE 福井人』を、全国の人々に手に取って頂き、福井に足を運んで頂けるような魅力あふれるガイドブックにすべく、報道関係者様には、福井県内および全国の福井関係者に向けた情報発信へのご協力を頂きたく、よろしくお願いたします。

【報道関係者様からのお問合せ・取材のお申し込み】

『福井人』制作委員会 取材窓口 TEL:0776-36-9175(株式会社ウララコミュニケーションズ内)
株式会社 博報堂 広報室 山野 TEL:03-6441-6161

「COMMUNITY TRAVEL GUIDE 福井人」制作概要

●内容

福井市を中心とした福井県の嶺北地方の人々との出会いを楽しむ旅のガイドブックです。

- ・本物のものづくりにこだわる眼鏡プロデューサー
- ・福井の食文化を提案するために奔走する農民
- ・スーツの文化を語り継ぐスーツスタイリスト
- ・越前漆器の未来を背負う6代目塗師
- ・職人氣質でコーヒーの味を深めていく焙煎士
- ・対話をして、自分を見つめなおすきっかけを作り出す僧侶
(月刊 URALA “Rising Sun”より)



幸福度ランキングで47都道府県中1位(法政大学大学院坂本教授調べ)の福井にあふれる、「福」にあふれる暮らし、個性的で魅力的な生活をおくる人々を紹介します。

●制作スケジュール

- | | |
|------------|---|
| 2012年10月2日 | クラウドファンディング募集開始(～12月末日)、コンテンツ制作開始
(随時、Facebook 他で取材・制作情報を発信していきます) |
| 2012年10月7日 | キックオフワークショップ開催@福井市 (※詳細は別添資料をご参照ください) |
| 2013年4月 | 完成・発売予定 |

●制作・運営

以下の4社を中心として構成する「COMMUNITY TRAVEL GUIDE 福井人」制作委員会が、制作・運営を行います。

- ・株式会社ウララコミュニケーションズ <http://urala.jp/>
1988年の創刊以来、福井の知的好奇心を刺激し続ける必須マガジン「月刊 URALA(月 55000部)」を発行する福井市の出版・編集・制作企業。
- ・まちづくり福井株式会社 <http://www.ftmo.co.jp/>
福井市、商工会議所などの出資による福井の良好な市街地を形成するためのまちづくり業務を行う機関(TMO)。
- ・英治出版株式会社 <http://www.eijipress.co.jp/>
1999年設立の出版社。社会起業やソーシャル領域の書籍に強みを持つ。COMMUNITY TRAVEL GUIDE の出版元。
- ・株式会社博報堂 hakuodo i+d http://issueplusdesign.jp/hakuodo_iplus/
ソーシャルイシューに対してデザインの力で解決に挑むことをミッションにした(株)博報堂の社内組織。

●一般の方へのご案内先

- ・「福井人」Facebookページ <http://www.facebook.com/COMMUNITYTRAVELGUIDE/>
- ・「福井人」クラウドファンディング専用ページ https://readyfor.jp/projects/fukui_jin(10月2日オープン予定です)
- ・「福井人」問合せメールアドレス fukui-jin@issueplusdesign.jp

●制作資金の調達について

ガイドブック『福井人』では、実行者を支援する日本初のクラウドファンディング“READY FOR”を活用し、制作資金の調達を行います。出資者は、福井を思う居住者と福井出身者の方々を想定しています。(その他の方々でもご出資いただけます)

クラウドファンディング※1

不特定多数の人から資金を集める行為。群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語で、製品開発やイベントの開催、チャリティなどの用途で利用されることが多い。ソーシャルファンディングとも呼ばれる。「志」を持つ人がそのアイデアを披露し、それに賛同する多数の支援者からネットを通じて必要資金を支援して貰う仕組み。

アメリカで2009年キックスターター社の創業を機に始まり、2011年頃より急激に出資額が増加しています。日本でも、2011年3月のREADYFOR、2011年6月のCAMPFIREをはじめ、様々なプラットフォームの運営が始まり、東日本大震災の復興支援プロジェクトを支える仕組みとしても注目を集めています。

出資金額とリターン内容の計画は下記の通りです。(変更される場合もございます)

1000円	サンクスレター送付
2000円	福井人1冊を発売日にお届け
3000円	福井人1冊+海士人1冊の特別セット
10000円	福井人1冊+海士人1冊+福井人Tシャツ+書籍内に氏名表記
30000円	上記+出版記念「デザイン思考」ワークショップ参加(50名限定)
500000円	福井人30冊+”あなたの街の課題解決”ワークショップ開催(2組限定)

●「COMMUNITY TRAVEL GUIDE」について

「COMMUNITY TRAVEL GUIDE」～人々との出会いを楽しむ旅のガイドブック～

「COMMUNITY TRAVEL GUIDE 制作委員会」が制作する、いままでになかった、人々との出会いを楽しむ旅のガイドブックです。史跡・自然・宿・土産物等を見学・消費するだけでなく、地域の人との出会いや交流を楽しむ、新しい旅のスタイルを提案します。このガイドブックを通じて、魅力的かつ個性的な生活を送る地域の人々を応援し、地域観光を盛り上げ、ひいては地域経済の活性化を目指します。

<http://issueplusdesign.jp/project/CTG/>

第1弾「海士人」(あまじん)



「ないものはない」——日本中から人が集まる小さな島への旅のガイドブック

流行のモノや娯楽は何もないけれど、自然の恵み、人間関係、ゆったりとした時間など、人が人らしく生きるために大切なものは何でもある島、海士町。魅力的な生き方をする人々の住むこの島に、遊びに行ってみませんか？これまでなかった、人々との出会いを楽しむ旅のガイドブック。

[サイズ]B6 [ページ]112 頁 [価格]840 円(税込) [発売日]2012 年 5 月 28 日

[著者]COMMUNITY TRAVEL GUIDE 編集委員会 [出版社]英治出版